

ワークショップ9

「エビデンスに基づく漢方診療」

司会 片岡 洋望（名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学）

眞部 紀明（川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波））

現在、米国では、「代替療法」の研究開発が急速に進んでいる。その理由の一つとして、「医療費の高騰」が挙げられるが、同時に西洋医学では対応できなくなった疾患が多くなり、それを代替するために研究開発されているとも言われている。わが国においても、多くの医師が日常診療で漢方薬を処方しており、消化器領域において漢方治療の果たす役割は高い。本セッションでは、消化管疾患に対する漢方治療の有用性、注意すべき有害事象などに関して基礎、臨床を問わず幅広い観点からの研究をご発表いただき、活発にご討論いただきたい。